

Koichi Kurenuma Design Works

はじめに

私たちが日々過ごす日常生活の周辺には、様々な「モノ」が溢れています。目で見たり、手にすることができる「モノ」はそのほとんどが、個人もしくはチームによってプランニング(企画)され、デザイン(計画・造形)され、最初にシンボルマークやロゴタイプ等が考えられ、その後「商品パッケージ・各種印刷物・広告」へと展開され次々と社会に届けられてきました。かつて人々は、そのような多くの「モノ」による媒体を通して情報を得ることが中心でしたが、「パソコン」や「スマートフォン」の登場以来、社会のデジタル化は急速に進み、人々の生活は、インターネット・SNS等のITインフラとツールを通して相互に情報をやり取りすることが可能となり、人々の行動様式や購買動機に大きな影響力を持つようになりました。しかし、「文明の進化・発展が文化を滅ぼす」という先人からの教訓が示すように、「コンピューター・テクノロジー」の進化が生み出すデジタル情報ばかりに頼りすぎる人間社会になった時、果たして本当に人にとっての「幸せな社会環境」「幸せな生活環境」が実現できるのでしょうか。この点に関して、私はかなり以前から少々疑問に思ってきました。1945年の終戦以来、焦土と化したこの国に、その後の繁栄を築いてこれたのは、大企業の力のみではなく、全国に広がる数多くの中小企業の力であり、それぞれの個性ある地域に育まれ、親しまれてきた「老舗」と言われる商店や気概に溢れた小規模企業でもありました。そこでは、経営者と従業員が本気になって「モノ作り」に取り組む姿があり、そのような誠意と熱意に溢れた方々とも、これまで何度となく出会う機会がありました。現在我が国日本、そして世界は、大きな変革期を迎えました。現在必要なのは、過去の理屈や数字・規模ではなく、現時点における課題の本質を冷静に見極め、視線を低く保ち、行動を起こすことではないでしょうか。また、優れた商品やビジョンを持ちながらも「ブランディング表現」が十分ではない為、大きな成果が得られていない例も多く見られます。そのような状況においては、適切なコンセプトとデザイン表現を採用、実施することで、期待以上の成果を実現することも可能になります。私のこれまでの半生においては、デザイン事務所を営みながら、様々な教育現場にも携わってきましたが、今後は、プランナー・デザイナー・造形作家として、人に優しく広く人々から愛される「個性溢れる表現」に専念したいと思っています。

暮沼宏一 デザイン作品集

Koichi Kurenuma Design Works

暮沼宏一／くれぬまこういち Koichi Kurenuma

プランナー・グラフィックデザイナー・墨彩／水彩画家

公益財団法人日仏会館会員 / NPO法人文化交流機構 円座会員 / アート&カルチャーの会代表

一般財団法人堀文子記念館・ホルトノキの会会員 / 元東京家政大学教授 / 長野市出身

私はこれまで様々なデザイン表現をする上において、「マーク・シンボル・ロゴタイプ」の果たす役割は、最も大切な要素として考えてきました。「伝えたい情報・言語」を様々な視点から深く考察し、その本質を論理的に明確に視覚化する「視覚言語化」という作業は、デザインの中核を成す貴重な作業工程であり、人間そして人間の住む現実社会を誠実に観察することでもあります。デジタルとアナログ双方の良さを生かした密度の高い表現をめざしています。

◎ 学 歴

武蔵野美術大学造形学部産業デザイン学科中退

東京藝術大学美術学部デザイン科視覚伝達デザイン専攻卒業

◎ 職 歴／賞 歴

1980～82 年 味の素株式会社広告部デザイン制作室入社／アートディレクターとして勤務

1982 年 欧州各地を研修旅行後、勝井三雄デザイン研究室にデザイナーとして勤務

1990 年 株式会社ジェネット・アソシエイツ／暮沼宏一デザイン室 設立

1991 年 「最高級茶蕎麦／芳翠」パッケージデザインにて通産省技術功労賞受賞

1991 年・97 年・99 年・2001 年／日本パッケージデザイン大賞入選／各種専門誌にマーク・シンボル・ロゴタイプが多数掲載される。

◎ 職 歴／教育分野

日本デザイナー学院・日本写真芸術専門学校に講師として 8 年間勤務

独立行政法人中小企業基盤整備機構／中小企業大学校にて集中講義 講師を務める

東京家政大学 家政学部造形表現学科／専任教授を務める（2008 年 4 月～2017 年 3 月）

◎ 業務内容／研究分野

- ・各種企業名・ブランド名・商品名等のプランニングおよび実制作
- ・各種マーク・シンボル・ロゴタイプ・イラストレーション・墨彩等のプランニングおよび実制作
- ・各種商品パッケージのプランニングおよび実制作
- ・各種リーフレット・パンフレット・本の装丁等のプランニングおよび実制作
- ・各種写真撮影および撮影コーディネート

◎ これまでの主なクライアント

味の素株式会社	森永乳業株式会社	株式会社 電通	トータル・コミュニケーションズ株式会社
味の素 AGF 株式会社	アサヒビール株式会社	株式会社博報堂	株式会社 JR 東日本企画
カルビス株式会社	株式会社ミツカン	東宝映画株式会社	京都大学 iPS アカデミアジャパン株式会社
日本ケロッグ株式会社	三立製菓株式会社	社団法人日本農芸化学会	公益財団法人 品川文化振興事業団／O美術館
キャノン株式会社	池島フーズ株式会社	社団法人津田塾会	
リクルート株式会社	東レ・アイリブ株式会社	社団法人全国労働金庫協会	
リコーエレメックス株式会社	株式会社銀座 シシリア	学校法人 横浜雙葉学園	
石川県／輪島市・珠州市地域振興プロジェクト		茨城県／取手市地場産品活性化プロジェクト	

● 各種シンボルマーク・ロゴタイプ／アーカイブス



CLASSIC AND SENSITIVE TASTE
OF TRADITION

アパレル・ブランドロゴマーク／(株)ワークス&フレンズ



le Salon de la Cuisine Hayama

フランス料理サロン・シンボルマーク



乳飲料・ブランドロゴタイプ／森永乳業(株)



果実紅茶
Original Fruit Flavoured Tea

紅茶飲料・ブランドロゴタイプ／カルピス(株)



KAYAMA CAPTAIN COAST

リゾート施設・シンボルマーク／(株)融和開発



焼菓子・ブランドロゴタイプ／三立製菓(株)



奥能登 珠洲ビーチホテル

ホテル・シンボルマーク／奥能登珠洲ビーチホテル



保険代理店・コーポレートマーク／フロイデ保険事務所



国内旅行情報誌・ロゴタイプ／(株)リクルート



コンサート・シンボルマーク／津田ホール



Nagano Gastroenterological Hospital

病院・シンボルマーク



インド料理レストラン・シンボルマーク



麺類・ブランドロゴタイプ／池島フーズ(株)



電気設備工事会社・コーポレートマーク／(株)鈴鹿テクト



ムービーカメラ・ロゴタイプ／キヤノン(株)



ビデオプリンター・ロゴタイプ／ソニー(株)



コーポレートマーク／味の素ファインテック(株)



宝飾品会社・コーポレートマーク／(株)ラッキー商會

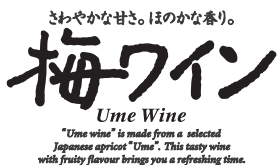


Legend Pharma

医薬関連会社・コーポレートマーク／(株)レジェンドファーマ



旅行サービス会社・コーポレートマーク



ワイン・ブランドロゴタイプ／アサヒビール(株)



お香・ブランドロゴタイプ／東レアイリブ(株)

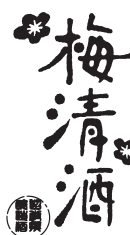


PAUL WINTER
AT THE HAKONE OPEN-AIR MUSEUM 1995

音楽イベント・シンボルマーク／味の素(株)



日本酒・ブランドロゴタイプ
／金門酒造(株)



日本酒・ブランドロゴタイプ
／(株)田中酒造店



保険代理店・コーポレートマーク／(有)アスク



プチホテル・シンボルマーク



ヒーリング・ブランドロゴタイプ



OKINAWA
SELECT

地場産品活性化プロジェクト・ブランドロゴタイプ



水・緑・地球 LISTEN TO THE WHISPER OF NATURE

自然保護世界会議「ラムサール条約」創設 キャンペーンマーク「東京～創設 フェリー船体画」／近海郵船(株)

● 各種シンボルマーク・ロゴタイプ／アーカイブス

頭皮洗浄機「ケアナケア」
／シンボルロゴタイプ
リコーエレメックス(株)

健康で清潔な頭皮環境を整えるパーソナル頭皮洗浄機の為のロゴタイプです。欧文・和文ロゴタイプに毛髪の持つ柔らかさ・しなやかさをアレンジしてみました。



アドバイザーズ 株式会社
／コーポレートマーク

金融商品仲介業務を営む会社のコーポレートマークです。欧文会社名には、知性を表すブルーを、成長力を象徴する植物リーフにはグリーンのグラデーションを用い、明快に表現しました。



ソフトウェアプログラム「クレアコンボ」
／シンボルロゴタイプ
東レACS (株)

アパレル業界における様々な業務をその目的に応じ、的確にアシストするソフトウェア・パッケージの為のシンボルロゴタイプです。



好奇心本舗
／シンボルマーク

情報化社会の更なる進展により、人々の価値観が大きく変貌してきた現代において、それぞれの人間が本来持つ好奇心をたいせつに扱い、育てようとするプロジェクトのマークです。

「全国学生研究コンクール」
／シンボルマーク

全国高等学校家庭クラブ連盟「FHJ」とは、高校生が学ぶ家庭科学習内容の発展としての実践・体験的な活動であるホームプロジェクトと学校家庭クラブを推進するための全国組織です。このイラスト風「シンボルマーク」は、味の素株式会社がスポンサーとなり「全国コンクール」が開催された際に制作されたものです。雑誌・ポスター・リーフレット等に広く用いられました。

「水戸街道 取手宿」
統一ブランド・地域活性化計画
／シンボルマーク

東京藝術大学美術学部「取手キャンパス」からの依頼により、茨城県取手市の地場産品／老舗食品会社数社が共同で「水戸街道・取手宿」という統一ブランドを立ち上げ、地域活性化計画を実施する際にその「シンボルマーク」として制作したものです。江戸時代から続く老舗各社の伝統的雰囲気を変形の形状を通して表現しました。参加各社の主力商品の「ラベル」ならびに「パッケージデザイン」も同時に制作しました。

ケアナケア
Care'na Care



味の素ベーカリー株式会社
／Tシャツ・シンボルマーク

冷凍パン生地ビジネスにおいては業界トップクラスである味の素ベーカリー株式会社。自社の更なる社員意識向上の為に制作されたマークです。主にTシャツ等に用いられました。



「漆の里 輪島」「日本海シティ輪島」／シンボルマーク

能登半島北西に位置する人口約3万人の町、輪島市は江戸時代中期以降、漆器産業が盛んになり「輪島塗」として広く親しまれてきました。輪島塗は完全な分業制で、各工程それぞれの職人の技と魂により、貴重な「漆の文化」が守られてきました。「漆の里 輪島」のシンボルマークは、これら優れた職人達の「誇りと想い」を形に表現したものです。朱色を基調に刷毛の動きと朱印のイメージをデザイン要素として用いました。「日本海シティ 輪島」のシンボルマークは、輪島市のイメージアップを図るために制作され、真っ白な大型バスの側面を美しく飾ったり、様々な媒体に用いられました。



● 各種パッケージ・ラベル／アーカイブス



乳飲料「ピクニック」
／パッケージデザイン
森永乳業(株)

森永乳業の商品の中でも、最も長く親しまれ、その販売実績を誇ってきた「ピクニック」のリニューアル・デザインをシンボルロゴタイプの刷新と合わせて実施し、大きな成果を上げました。



乳飲料「ピクニック」
／パッケージデザイン
森永乳業(株)

開発当初、低年齢層向け商品として開発された「ピクニック」のデザインを、前回のリニューアルよりも、より広い世代に親しまれるように、爽やかな白を全面に生かし、フレッシュ感を強調しました。



コーヒー飲料「ピクニック」
／パッケージデザイン
森永乳業(株)

「ピクニック」ブランドによる「コーヒー飲料」のパッケージデザインです。コーヒーが醸し出す豊かな香りと成熟した渋味を感じさせる表現をめざしました。



宅配専用「選りぬき米」
／パッケージデザイン
森永乳業(株)

地域特産のブランド米と森永系・乳飲料販売店網との活性化をめざす為、既存の牛乳パックにブランド米を詰め、日本画風の「美人画シリーズ」イラストのパッケージを制作しました。



焼菓子「源氏パイ」
／商品パッケージ
三立製菓(株)

浜松の製菓会社／三立製菓の主力商品であった「源氏パイ」を全国的に広く売れる商品にしたいという要望の下、1年の期間をかけてデザイン・リニューアルを施し、新たな商品に生まれ変わりました。



焼菓子「源氏パイ」
／商品パッケージ
三立製菓(株)

「源氏パイ」のデザイン・リニューアル後、約四半世紀が経過しました。今では、国内のみならず中国・東南アジアまでも進出する「ナショナル・ブランド」にまで成長し、様々な商品が生まれ続けています。



備蓄用食品「フラット・カンパン」
／商品パッケージ
三立製菓(株)

自衛隊向けの「乾パン」を永年作り続けてきた三立製菓。このカンパンを、アウトドア・ブームの中、一般向け商品として流通させようと新たなデザインプランを考え、商品化したパッケージです。



焼菓子「森のワッフル」
／商品パッケージ
三立製菓(株)

既存のワッフル商品を、時代に見合う魅力的な商品にリニューアルしたいという要望に対して、新たに商品名を「森のワッフル」とし、温かみのあるロゴタイプとパッケージ表現を試みました。



紅茶缶飲料「果実紅茶」
／パッケージデザイン
カルピス(株)

香り豊かな紅茶に新鮮な果実の風味を加え、お子様から大人まで、年齢を越えて、愛され親しまれる紅茶飲料の表現をめざしました。帽子姿の少女のシルエットをアイ・キャッチャーにしました。



健康飲料「アルギニンV」
／ラベルデザイン
カルピス(株)

男性向けの健康飲料が多い中、女性向けにビタミンを謳ったドリンクを発売するにあたり、全体のテーマカラーは黄色とし、欧文ロゴに青と赤を配色し、視覚効果の高い表現をめざしました。



ファミリーワイン「フェスタ」
／ラベルデザイン
アサヒビール(株)

家庭内で、気軽に楽しく飲めるワインのラベルイラストを当時人気のあったイラストレーターに「祭の楽しさ」をテーマに描いてもらい、赤・白・ロゼの違いをラベルの背景色を変えることで表現しました。



果実酒「梅ワイン」
／ラベルデザイン
アサヒビール(株)

国産梅100%を原料にした「梅ワイン」は、その独特の風味と爽やかさで、すでに人気商品でしたが、更に販売増をめざす為に、白を基調にしたナチュラル感漂うラベルに変更し、より好評を得ました。



お香ブランド「Ko's Bar」
／商品パッケージ
東レ アイリーブ(株)

若い人達にも「お香」の魅力を知ってもらい、日々の生活の中でリラックスしたい時やお部屋に香りを届けたい時などに手軽に用いることができるカジュアルなお香「Ko's Bar」ブランドを開発しました。



消炎鎮痛パップ剤「ニューホルキス」
／商品パッケージ
帝國製薬(株)／テイクコファルマケア(株)

競争が激しい消炎鎮痛パップ剤市場に対して、あえてシンプルに、クールなデザインで参入したのが、この「ニューホルキス」です。植物の発芽をイメージしたフォルムをアイキャッチャーにしました。



沖縄セレクト「南の島の冷やし麺」
／商品パッケージ
サン食品(株)・海邦商事(株)

沖縄特産の「シークワサー」の風味をたっぷり加えた麺で作った冷やし中華です。沖縄産のプレミアム感を強調する為に商品名を「南の島の冷やし麺」としました。料理の制作も行なっています。



沖縄セレクト「南の島の冷やし麺」
／商品パッケージ
サン食品(株)・海邦商事(株)

沖縄特産の「パイナップル」の風味をたっぷり加えた麺で作った冷やし中華です。「シークワサー」と同様に、「南の島」のイメージを原色を生かした「琉球的」な配色を用いて表現しました。

● 各種パッケージ・ラベル・グラフィックツール／アーカイブス



高級茶蕎麦 喜泉庵「芳翠」
／商品パッケージ
池島フーズ(株)

最も高級な抹茶をふんだんに用いて作られた高級茶蕎麦の「プレミアム・パッケージ」です。和紙を用いた美しく凛とした和モダン風表現は、贈答用にも広く用いられ、通産省技術功労賞を受賞しました。



喜泉庵「銘茶そば」
／商品パッケージ
池島フーズ(株)

地元静岡産の抹茶を用いて、丁寧に作られた手折り状の茶そば・パッケージです。個装・外装共に筆勢のある「茶」の一字を大きく大胆に表現し、高級感と品質の確かさをアピールしました。



純米吟醸酒「金門」
／商品ラベル
金門酒造(株)

天保五年(1834)に創業された茨城県・金門酒造の看板商品「金門」のラベルデザインです。正統風の手書き文字を和風テイストのラベル紙に金色で印刷し、歴史と高級感を醸し出しました。



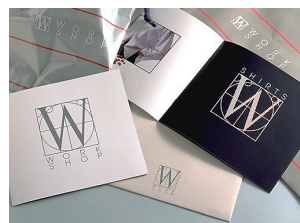
君萬代「梅清酒」
／商品ラベル
(株)田中酒造店

明暦元年(1655)に創業された茨城県・田中酒造店が、梅と清酒(君萬代)を主原料に開発した「梅清酒」です。女性にも好まれるように小さな梅のイラストと優しい手書き文字でラベル表現をしました。



映画「モスラ」
／オープニングシーン・タイトル
東宝映画(株)

小・中学校の同級生、東宝映画の米田興弘氏が、映画「モスラ」の監督となり、オープニングタイトル／題字の制作依頼があり、完成した作品です。デジタル・エフェクトは、東宝チームにより制作されました。



アパレルブランド「WORKSHOP」
／ブランドロゴマーク・販促ツール
(株)ワークス&フレンズ

カジュアルな装いを特徴とするレディース・ブランドのロゴマーク・パンフレット・オリジナルバッグ等を統一感のあるイメージでまとめました。



アパレルブランド「LQ」
／ブランドロゴマーク・販促ツール
(株)ワークス&フレンズ

カジュアル・シックな装いを特徴とするメンズ・ブランドのロゴマーク・ラベル・ステーションリー等を統一感のあるイメージでまとめました。



リゾート施設「加山キャプテンコースト」
／シンボルマーク
融和開発(株)

加山雄三さんが中心となり、新潟県・湯沢に開発されたスキー・リゾート施設のシンボルマーク・ロゴタイプ・サイン計画を制作、各種グッズにも展開されました。



音楽イベント「味の素 Music Meets Art」
／シンボルマーク
味の素(株)

味の素がスポンサーとなり、箱根／彫刻の森美術館において開催された音楽イベントのシンボルマークを制作しました。様々なグッズに展開され、当日参加者に配布されました。



津田ホール「コンサート」
／リーフレット・ポスター
(財)津田塾会

津田ホールの開館以来、各種コンサートのリーフレットを約10年間制作しました。その時々アーティストに相応しい表現を考え、色と形に置き換えるデザイン作業が楽しく、印象に残る仕事になりました。



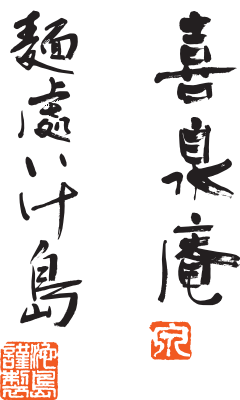
自然保護世界会議「ラムサール条約」／釧路 キャンペーン・マーク



「ラムサール条約」／釧路キャンペーン
マーク／東京～釧路フェリー船体画
近海郵船(株)

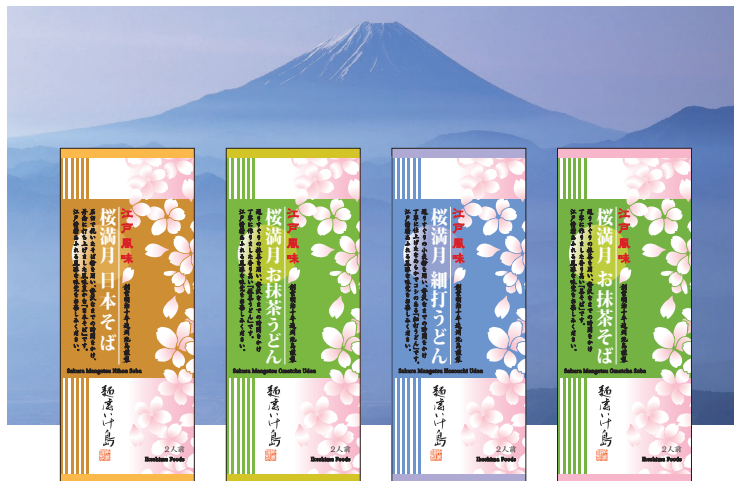
自然環境保護をテーマにした、ラムサール条約の国際会議が釧路で開催されることになり、東京～釧路間を結ぶフェリー側面を巨大なイラストで覆いました。イラスト原画は綿引明浩氏によるものです。





池島フーズ株式会社

毛筆による和風ロゴタイプ「麵處いけ島」と「喜泉庵」の文字、そして「落款」には、創業以来永きに亘り老舗製麺メーカーとして、厳選した原材料のみを使用し、優れた製品を作り続けてきた「職人魂と気概」「豊かさ」を表現しました。

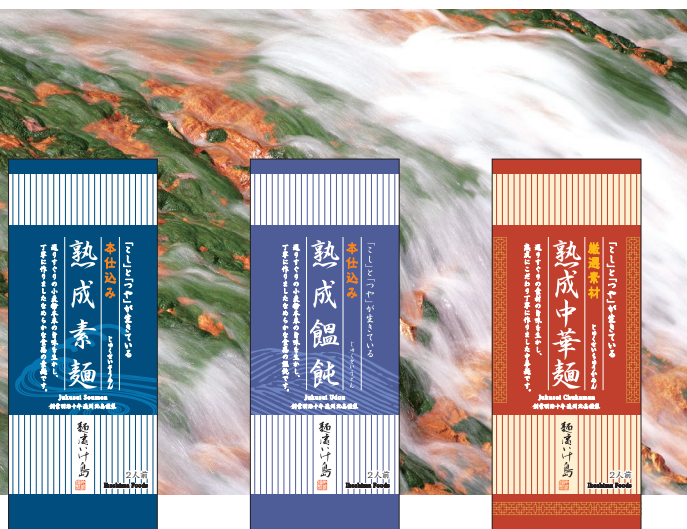
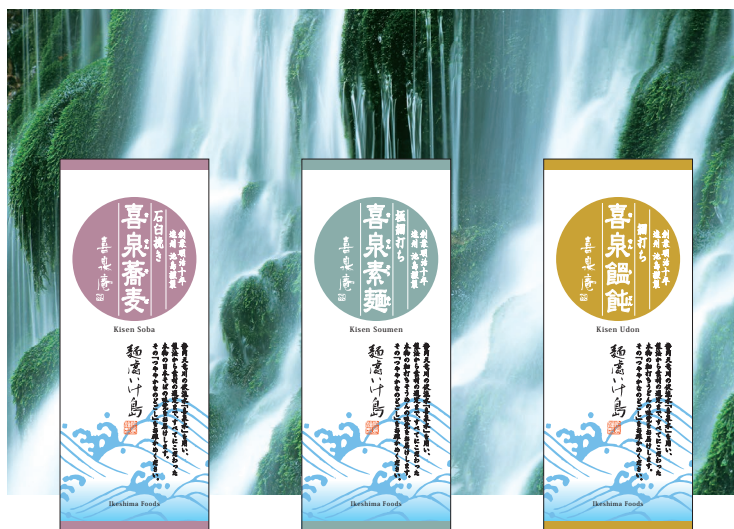


● 池島フーズ株式会社／ブランド・アイデンティティ(BI)計画

静岡県浜松市の「池島フーズ株式会社」は、明治10年に米問屋として創業後、昭和23年から麺類の製造・販売を始めた老舗製麺メーカーです。地元静岡産の抹茶を生かした茶そばの製造には定評があり、業務用茶そばでは国内最大手にまで成長しました。東京五輪の開催を前に商品イメージの一新を図り、海外への輸出にも力を入れたいとの要望に応える形で「ブランド商品」として流通できるように、ネーミングからデザインまで「和モダン表現」を生かし、各商品の個性化を図りました。



霊峰「富士」を筆で一氣に描いた紙袋は、すでに30年近く愛用されています。



上質な品質と企業理念を伝える商品/パンフレット

「桜満月ブランド」と「喜泉ブランド」「熟成ブランド」

「桜満月ブランド」は、日本人が最も好む春の花「桜」と、秋の美しい「満月」を商品名とし、それぞれのモチーフを日本画風の上品な表現で華やかにまとめました。「喜泉ブランド」は太平洋に面する遠州灘、そして優れた湧水「喜泉水」のイメージを「波紋」で象徴、「月影」を思わせる正円状のシルエットに白抜き文字を配し、プレミアム感を形成しています。「熟成ブランド」は、浜松の地場産業「染め物」の雰囲気、を基調に、波紋とストライプを繊細にあしらい、熟成した上質感を表現しました。



幕張メッセでの展示会風景



● 池島フーズ株式会社／ブランド・アイデンティティ(BI)計画

「竹炭ブランド」

いにしへの時代から「日本の美意識」の象徴として大切に扱われてきた植物「松」「竹」「梅」。中でも「竹」を用いた「竹炭」は様々な健康効果があるとされてきました。その「国内産竹炭」の粉末パウダーを「そば」と「うどん」に混ぜ合わせた健康志向の高い和風麺ブランドです。パッケージ包装全体から日本の竹の持つ気品ある美しさを感じられる表現をめざしました。

「野菜&麺ブランド」

健康効果の高い野菜の粉末パウダーを麺に生かしたブランドです。数多くある根菜類の中でも「れんこん」は、免疫機能を高めるビタミンCが特に豊富な野菜の一つです。「れんこん麺」では、輪切りにした時の蓮根特有の形状をデザイン的にパッケージ包装に生かしました。

パスタ「スイユ・ブランド」

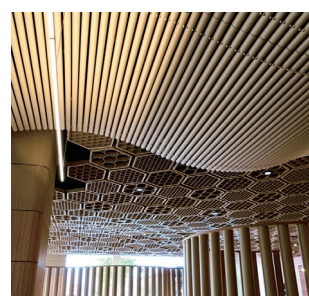
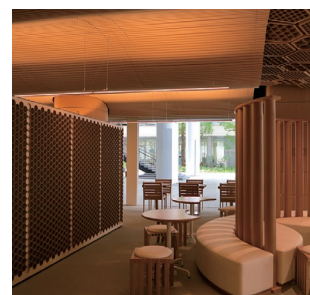
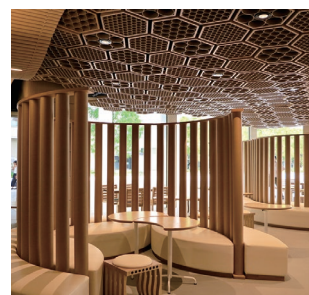
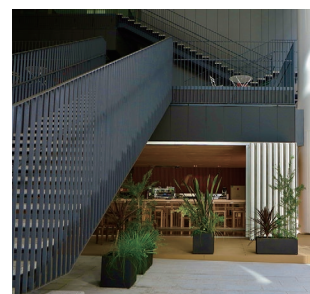
パスタ「スイユ・ブランド」は独特の形状をしたフランス風平打ちパスタです。平たい形状は、具やソースと絡みやすい上、プリッとした食感となめらかな口当たりをお楽しみ頂けます。パッケージデザインでは、フランスの三色旗／トリコロールを用いて、美しくシンプルに表現しました。

● 各種シンボルマーク・ロゴタイプ・グラフィックツール／アーカイブス



イタリアンレストラン「銀座シシリア」／ロゴ・マーク

2022年9月、東京都／江東区豊洲に「芝浦工業大学豊洲新校舎」が完成。その学内に銀座で創業50周年を迎えたイタリアンレストラン「銀座シシリア」が東京豊洲店をオープン。これに合わせ、新たな「ロゴ・マーク」を制作する機会を頂きました。イタリア・シチリア島を象徴する「オリーブの葉と実」を多くの資料を元に観察、楕円形のエンブレムと組み合わせ、シンプル且つ印象的表現を試みました。有機的なフォルムによる美しいインテリアは紙管を用いた表現で国際的に活躍する建築家／坂茂さんによるものです。



銀座シシリア東京豊洲店／芝浦工業大学新校舎内店舗・インテリア



「iPS アカデミア ジャパン 株式会社」／コーポレートマーク

2008年3月、横浜で催された京都大学主催のレクチャーにおいて「iPS細胞（人工多能性幹細胞）」を発見した山中伸弥教授の講義が聴けるとの情報を知り、早速申し込みを行い、幸いにも講義を受けることができました。以前から再生医療の分野に関しては興味を持っていたので、とても深い講義の内容に有意義な時間を過ごすことができ、その後しばらくその余韻が続いていました。

それから約3ヶ月後の6月中旬、知人を通じて、「不思議な縁」に導かれるように、京都大学学内の「iPSアカデミアジャパン」という組織から連絡があり、山中伸弥教授によって発見された「iPS細胞に関する知的財産を守るための会社」を設立したので、その会社のシンボルとなるコーポレートマークをデザインして欲しいとの依頼を受けたのです。しかもその内容は「数ヶ月後のアメリカでの会議までに、全てのステーションナリーを揃えて欲しい」という、かなりの難題でした…。ちょうどその年の4月から、女子大においてデザイン研究室を受け持ったばかりでしたので、「嬉しいような怖いような、複雑な感情」をこらえながら、プランを考える一方、類似したデザインがないかを調べる為に、アメリカのデザイン・データベースにアクセスする日々を送り、「最終的な3案」をコンセプトと共にまとめ、デザイン決定権を持つ国内外合わせて3名の役員に、インターネット上においてプレゼンテーションを行い、最も相応しいと思う、現在のデザインに決定しました。

それから4年後の2012年、山中伸弥教授が「成熟した細胞を多能性を持つ細胞へと初期化できることの発見」により、スウェーデン・ストックホルムにおいて英国人ジョン・ガードン卿と共に「ノーベル生理学・医学賞」を受賞されました。デザイン制作したコーポレートマークは、その後も様々な媒体に広がりを見せ、嬉しいことに、今現在も無事その本来の役目を果たし続けてきています。「プランナー・デザイナー」の私にとって、この仕事との出会いとそのプロセスは、生涯忘れることのできない「深淵且つ貴重な体験」となりました。



制作された各種ステーションナリー



Life Insurance Strategies
for Business Owners



Life Insurance Strategies for Business Owners

「株式会社オフィス・ハラ」／コーポレートマーク

永年国内大手証券会社に勤務。「日本・アメリカ・北欧」の上場企業の資金調達業務に携われた後、日本国内において会社を設立。2023年、設立20周年を迎えられた「株式会社オフィス・ハラ」様の新たな「VI計画」を制作する機会を頂きました。シンボルマークでは、欧文アルファベットの「H」と「蝶・木の葉」をモチーフに、シンプルで人に優しい明快な表現を試みました。「DM」等のグラフィック表現においては、爽やかな高原風景や湖の水面に浮かぶ波紋のイメージフォトを用い、真摯且つ親切・丁寧な「資産形成コンサルタント会社」のイメージを表現しました。



株式会社オフィス・ハラ／パンフレット・各種ステーションナリー

ART・JAM^{2nd} IN SETAGAYA

2024年5月21日(火)～26日(日)／世田谷美術館

- 会期／2024年5月21日(火)～5月26日(日)
午前10時～午後6時(初日5月21日は午後1時～/最終日は午後4時迄)
- 会場／世田谷美術館 区民ギャラリーA
- 主催／特定非営利活動法人(NPO)文化交流機構「円座」

アート・ジャム
in
世田谷

● NPO文化交流機構「円座」に集う造形作家たちによる展覧会です。

出品作家

青野 正／金属彫刻
江見 高志／金属彫刻
暮沼 宏一／デザイン
古賀くらら／日本画
塩野 圭子／型絵染
杉本 洋／日本画
鈴木 寿一／陶芸
鈴木ひろみ／木版画
田中 毅／石彫
中所 宜夫／能
長倉 陽一／日本画
前田 純平／版画
若麻績敏隆／日本画
(五十音順)

● 館内では光十分な距離を促さない場合がありますので、
他のお客様への配慮として、マスクの着用を推奨しております。

特定非営利活動法人 文化交流機構「円座」／NPO Cultural Exchange Initiative: ENZA
〒158-0097 東京都世田谷区用賀 3-25-1 TEL & FAX 03-6321-3424
mail: enza@wave.dti2.ne.jp https://www.npo-enza.com

Design / Kaichi Kurenuma

「表現の多様性」が求められるこの時代
異なるメディアで異なる個性を深めてきた作家たちが
「今という時代」をどのように表現するのか。

A4リーフレットとポスター



「アート・ジャム in 世田谷／2nd」展覧会／グラフィック表現

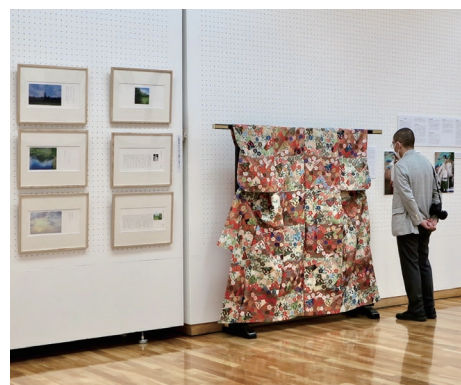
五月晴れの好天の下、2024年5月21日から26日までの6日間、所属する「NPO法人／文化交流機構・円座」のメンバーと共に、「若葉溢れる新緑の森」と「新鮮な空気」に包まれた「世田谷美術館」において、グループ展「第2回アート・ジャム in 世田谷」を開催しました。異なるお互いの存在を尊重し、「表現の多様性」を認め、異なる個性を深めてきた造形作家・表現者たちが、永年積み重ねてきた独自の表現世界を展示し、多くの鑑賞者の目を楽しませました。告知グラフィック表現の中心となる絵柄は、中国の故事にある、勢いの良い鯉が滝の急流を登り切り、この年の干支である「龍」になったという伝説を元に制作しました。会期中には約600名の方にご来場頂き、美術館の周辺を取り巻く「砧公園」に集う子供から高齢者の方たちまでの明るく元気な姿と重ね合わせながら、「平和の尊さ」と共に「アート表現の持つエネルギー」を肌を通して実感されたのではないかと思います。現在、私たち人類の唯一の住処である地球上では「地球温暖化」の影響による様々な「自然災害」や民族・国家間の紛争による「戦争被害」により、多くの人々が苦境の淵に立たされ、数多くの難民が発生しています。歴史的に見て、戦争の原因の一つには、宗教の相違が挙げられますが、私たちが集う「NPO法人／円座」のメンバーには、作品制作と並行し、「神道・修験道・仏教・キリスト教」等の宗教的知識・宗教観を深める作家たちが多く存在するのも特徴です。社会の「恒久平和」「自然環境保護」を願うメンバーの展覧会でもあります。



私の作品は、約40年間にわたり制作してきました「マーク・シンボル・ロゴタイプ」を中心に、その中から代表的な作品を完成させるまでのストーリーやプロセスに関して、簡略な説明を加えながら、表現する上で私が大切にしているポイントを言語化しました。2024年元旦に起きた「能登半島地震」により大きな被害を受けた輪島市と珠洲市に関しては、かつて地域活性化プロジェクトに参加、輪島では、漆工芸産業活性化の為にシンボルを制作、珠洲では代表的ホテルのマークを制作しました。漆工芸の一大聖地「輪島」、そして「珠洲」の自然と文化を守る為にも、多くの支援が届き、早期に復興されることを願うばかりです。パネル中盤以降は、「マーク・シンボル・ロゴタイプ」の基本形に彩色が施され、様々な媒体に広がり、社会に届いたプロセスを写真と共に表現しました。



「世田谷美術館」は東京都立公園である「砧公園」の中にあります。その公園の前身は、1940年(昭和15年)に催された「紀元二千六百年記念事業」(神武天皇が即位してから2600年を祝った国民的祝祭行事)の一環として都市計画決定された大緑地帯でした。戦時中は「防空緑地」、戦後は「野球場・ゴルフ場」、1966年からは一部が「ファミリーパーク」として利用されてきました。そのような歴史上由緒ある土地環境の中で開催される隔年毎のNPO法人「円座」主催による「アート・ジャム in 世田谷」展覧会には、より深い思考を重ね、表現を磨き続ける作家達が今後も集い続けることでしょう。



品川区民芸術祭 2024 ○美術館企画展

相武常雄 金工／鍛金の世界

沌・転・歓・展

金属に魅せられ、金属を愛し、
作品を創り続けて半世紀。
その「金属オブジェ」が語りかける
言葉の数々が、今のあなたの心に響く…。



2024年
10月19日(土)
11月27日(水)

会期中無休

「相武常雄によるギャラリートーク」
● 第1回/10月27日(日) 15:00～16:00
● 第2回/11月 8日(金) 18:30～19:30

主催：品川区・S Shinagawa 品川文化振興事業団

会場：○美術館

JR大崎駅/大崎ニューシティ2号館2階

● 開館時間/10:00～18:30 (最終入館18:15)
※金曜日のみ19:30まで (最終入館19:15)
● 入館料/一般 500円
※高校生以下、70歳以上、障害者手帳をお持ちの方と
付き添いの方1名は無料

TSUNEO AIMU
METAL ART
TON TEN KAN TEN

金属の世界に魅せられて半世紀。
工芸・金属造形鍛金作家として活躍する相武常雄。

東京藝術大学の大学院時代より品川区に居住し、
金工・鍛金技法による制作に意欲的に取り組み、
作家としての骨格を形成しました。
本展では、初期の作品から最新作まで、日展や日本
現代工芸美術展出品し作品を中心に、銅や亜鉛、
アルセリ、動物の置物など生活に密着した工芸
作品も展示します。
氏の表現における根幹を看んだ品川の地で、初期から
現代までの作品を一堂に展示し、相武常雄の作品
世界を多彩に紹介する回顧展となります。

相武常雄 プロフィール
1949年 愛知県常滑市に生まれる
1969年 東京藝術大学美術学部工芸科入学
1973年 東京藝術大学美術学部工芸科卒業
東京藝術大学大学院入学と同時に品川区に居住。
1975年 東京藝術大学大学院美術研究科鍛金修了
以降、日展、日本現代工芸美術展へ出品、個展等を開催。
日本芸術院賞をはじめ様々な賞を受賞。
日展等の審査員も務める。
現在、日展特別会員、日本現代工芸美術家協会理事

受賞歴
1973年 卒業制作がサロンド・フランタン賞
1977年 第16回日本現代工芸美術展にて現代工芸賞、読売新聞社賞
1980年 第19回日本現代工芸美術展にて現代工芸賞受賞
2000年 第32回日展にて特選
2002年 常滑市文化功労者賞表彰
2002年 第41回日本現代工芸美術展にて現代工芸理事賞
2003年 第35回日展にて特選
2004年 第40回大分県美術展にて大分市長賞
2011年 第43回日展にて日展会員賞受賞
2016年 第55回日本現代工芸美術展にて内閣総理大臣賞
2017年 改組第4回日展にて文部科学大臣賞
2019年 第21回岡田茂吉賞大賞受賞
2021年 第77回日本芸術院賞受賞



1 DANCE 2001
2 風神・雷神 2014
3 未来へ向け 2023
4 舞い降りたイシュタル 2017
5 宙への祈り 2018
6 反席(西歌踏む) 2022
7 工芸作品

information!
相武常雄によるアーティストギャラリートーク
日 時 ①10月27日(日) 15:00～16:00
②11月 8日(金) 18:30～19:30
※両回ともに
会 場 ○美術館
定 員 50人(先着)※空きがあれば当日参加可
参加費/無料
参加方法/ホームページ専用フォームからお申し込みください。

●期 間 2024(令和6)年10月19日(土)～11月27日(水) ●会期中無休
●開館時間 10:00～18:30(最終入館/18:15) ●入館料 一般500円
※金曜日のみ19:30まで(最終入館19:15)
※高校生以下、70歳以上、障害者手帳をお持ちの方と付き添いの方1名は無料

●主 催 品川区・S Shinagawa 品川文化振興事業団

○美術館

●アクセス ●JR山手線・有明線・有明線延伸線「大崎」駅(大崎駅、北改札口・東口下車 徒歩2分)
東武バス(大崎駅)～品川駅「大崎駅」下車 徒歩2分
東武バス(品川駅)～品川駅「品川駅」下車 徒歩2分
●お問合せ ○美術館 電話03(3495)4040(平日10時～18時30分/本館休館)
●ホームページ/ <https://www.shinagawa-culture.or.jp/or/>



○美術館企画展「相武常雄 沌・転・歓・展」/グラフィック表現

猛暑が続いた夏が去り、爽やかに青空が広がった秋空の下、2024年10月19日から11月27日までの2ヵ月間にわたり、東京都品川区と公益財団法人「品川文化振興事業団」主催による大規模企画展「金工／鍛金の世界 相武常雄 沌・転・歓・展」が大崎ニューシティ内の「○美術館」にて開催されました。この展覧会において、開催告知のための「ポスター」「リーフレット」及び「作品図録(100ページ)」の制作を担当させて頂きました。金工／造形作家の相武常雄先生と宮田亮平先生(日本芸術院会員)のお二人は、私が10代の頃から指導を仰いできた恩師であり、その内のお一人である相武常雄先生の作家活動50年を記念する今回の回顧展では、過去半世紀にわたる創作活動を一望する展示内容に至りました。特に、この展覧会のために1年間以上の歳月をかけて制作されてきました大作「日出づる國へ」は、リヒテンシュタイン出身の「音楽家／ヨーゼフ・ラインベルガー」をモデルにした幅5m、天地2.5mに及ぶ作品で、壁一面に広がるその気概溢れる作品には多くの鑑賞者が魅了されました。





上／図録 下／A4リーフレットとポストカード



最後までご覧頂きありがとうございました。
お仕事上における「ご相談・ご用命」は以下のメールアドレス宛に
お気軽にお寄せください。

株式会社 ジェネット・アソシエイツ
暮沼宏一デザイン室／k-cre2623@gmail.com

社名の「ジェネット／Genet」とは、「Green・Ecology・Net」を合成した造語です。
「自然環境・人間・動植物の生育」を大切にする社会への貢献・実現を願って会社名
としました。「小さきもの・弱きものへの配慮を忘れない社会」を理想としています。